

## 留学体験記その4

・春学期が始まりました。春学期は1月から5月の上旬までです。

### —授業について

今学期は秋学期よりも履修できるCS関連のクラスが大幅に増えたため、どのクラスを履修しようかととても迷いました。自分は履修登録が始まる前にチューターをしている学生に履修するつもりの方のクラスに関することやオススメのクラスを教えてもらうことで最終的に決めることができました。交換留学生は正規の学生よりも履修登録の開始時期が遅いため、履修したくてもすでに枠が埋まっていて履修できないケースや履修登録期間に迷っているとすぐに枠が埋まることもあるので、履修登録ができるようになるまで履修する授業をすでに決めておくと思います。

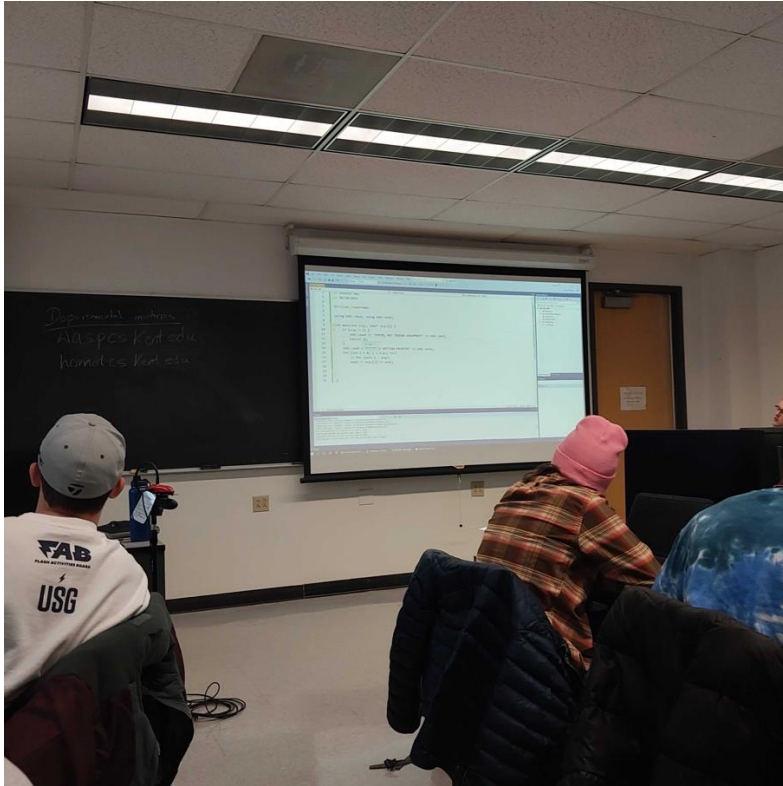
今学期は4つの授業を履修しています。履修している授業は全てCS関連です。

- 1, CS3
- 2, Introduction to Database Design System
- 3, Game Engine Concept
- 4, Information Security

### 1, CS3

このクラスはC++でデザインパターンを学ぶクラスです。最初の前半部分はC++のアルゴリズムについて復習といった形で学びます。春学期から1ヶ月しか経っていないためクラスでの学習内容はまだSTLなどのアルゴリズムです。このクラスは火曜日と木曜日に講義、金曜日にLabがあります。Labは講義で学んだ内容に関連した課題を実際にC++で実装して提出します(<http://antares.cs.kent.edu/~mikhail/classes/cs3/Labs/>)。

Labの時間内で課題が終わらない場合は、1週間後のLabまでに課題を提出すれば大丈夫です。Labの曜日は火曜日、木曜日と金曜日から好きな時間を履修登録の段階で選べます。講義は先生がスライドを使いながら説明していきます。先生は喋るのが早くメモを取ることが難しいので、講義前にスライドに書いてあることを調べたりして講義に臨んでいます。講義中は生徒にかなり細かいところまで質問されます。



\*この写真は CS3 の Lab の風景です。

## 2, Introduction to Database Design System

このクラスはデータベースを学んでいます。週2の授業で、スライドに沿って授業が進められています。授業の内容は“SQL とは何か”から始まるためデータベースを知らなくても学びやすいと思います。また、この授業では XAMPP というデータベースを実行できるソフトウェアを自分のパソコンにインストールして利用しています。授業で学んだことを実際に手を動かして動作を確認することができるため知識が身につきます。チームプロジェクトもあり今後も楽しい授業です。

## 3, Game Engine Concept

このクラスは名前の通りゲームを作る際に使用される Unity などのゲームエンジンについて学びます。自分は普段ゲームとかする人では無いのですが、あえて自分と関連性が無いこのクラスの履修を決めました。最近では、Unity で LEGO GAME に自分のアイデアを加えて提出する課題がありました。先生は PhD の学生でノリが軽いので他の授業よりもクラスの雰囲気が明るくとても楽しく学ぶことができます。講義の内容ですが、スライドで一通りゲーム制作に必要なことである様々なことを学びます。この前の

授業では高校以来の三角関数や物理の摩擦係数が授業で登場してとても驚きました。かなりオススメです。

#### 4, Information Security

このクラスではセキュリティーのクラスです。クラスが始まってから気づいたのですが、学部生だけでなく院生用のクラスでもあるため履修している学生は全部で40人です(それぞれ20人が履修登録できます)。このクラスは他のクラスと違い毎回のクラスでスライドを使用して進めることは滅多にありません。その代わりに講義は先生がPython(フレームワークのBottle)でコードを書きながら、どう言う仕組みでパスワードがデータとして保存されているかを説明しながら実演してくれています。

##### ・コロナ感染体験記

春学期が始まって1週間経った時にコロナに感染しました。今思えば、コロナに対する緊張感が薄れていたため、消毒などの感染対策を怠っていたことが原因だと思います。ケントでは日本と違い毎日感染者数を数えておらず、日常の会話でも話題にならないため避けようがないと思います。

以下、コロナ感染時のそれぞれの状況です。

##### —大学の対応

寮のラウンジにある窓口に行けば、コロナ検査キットが貰えます。自室で検査をして陽性だと判明すれば、担当の窓口で電話もしくはメールで自分がコロナに感染したことを伝えます。その後、キャンパス内にあるコロナ隔離用の寮に自分の荷物を持って行きます。(部屋はメールにて割り当てられます)

##### —食事・水

隔離用の建物には各階に食べ物と水が置いてあり必要な量だけ取ることができます。そのため、食事や水分に関しては自分で準備する心配する必要は無いです。ただ、食事は部屋に滞在時に必要な量を一度に届けてくれるのですが、食べ物はパンや牛乳、オレンジジュースや冷凍食品で、体調を崩していた時に日本で食べる物(消化しやすいゼリーなど)とは異なる物でした。特に自分はコロナの症状で喉の痛みが酷かったので、ほとんど食べることはできませんでした。唯一食べることができたのがバナナでした。あ

と、隔離用の寮にはカップヌードルが置いてあったので、まだ麺類の方が食べやすかったと思います。



\*この写真は実際に隔離施設に置いてある食事です。部屋には電子レンジもあるので冷凍食品が多いです。



\*この写真は隔離施設に置いてある水とカップヌードルなどの食料です。

—あれば楽なもの

inゼリーなどを日本から持って来た方が良いです。自分も事前に持って来ていたのですが、量が少なかったので途中で食べる物に困りました。そのため多めに用意するか日本から送ってもらうことをオススメします。アメリカでも Amazon で購入できるのですが、値段が高いのと口コミがあまり良くありませんでした。また Amazon の配達は通常 1 週間かかるので感染する前にあらかじめ用意することをオススメします。



\*この写真は実際に届けてもらった食料です。

#### ・日常生活について

前の学期を経験したこともあり、ここでの生活に戸惑うこともなくなりました。それもあり日々の生活に余裕があったので、Indoor Soccer League という 5 VS 5 の室内サッカー大会に友達を誘ってチームで参加しました。チーム名は Egoist です。チーム名を決めたのは僕ではなく、日本の漫画が大好きなアメリカ人のチームメイトです。彼曰く、ブルーロックという日本のサッカー漫画が由来だそうです。毎週木曜日に 18 分ハーフの試合がありました。自分たちのチームは大会が始まる前からみんなで集まって練習をするなど試合に向けて準備をしていました。最終的には満足のいく結果ではありませんでしたし、英語でのコミュニケーションで指示を出したりするのはとても苦労しました。しかし、次の練習のことや試合に向けて友達と連絡取ったり、意見を出し合って作戦を考えたりした時間はとても有意義でした。正直言うと、最初は友達を誘うのに迷ってい

ましたが、ダメ元でも誘って正解でした。今後も違うスポーツの大会が開催されたりするので、また参加しようと考えています。

・終わりに

一留学生活も残り2ヶ月になりました。日々時間が過ぎるのを早く感じています。ここでしかできないことにこだわって、楽しもうと思います。そういえば、8月からケントで生活しているのですが、いつもキャンパス内にいるためケントの街についてほとんど何も知らないです。今度時間があれば周辺を散策しようと思います。



\*これは夕方の練習の後に撮った写真です。写っているのは誰でも自由に利用できる陸上トラックと芝生のグラウンドです。



\*これはボストンに旅行した時に会った犬です。雰囲気はどこか自分に似ていると感じ写真を撮りました。